

東濃建設業協同組合との技術提携を古川雅典市長に報告するUTMの一行―多治見市役所



東濃建設業協組、マレーシア工科大と技術提携

「冷却舗装」海外実験へ

来月に施工、効果を測定

環境配慮型塗装「クールアイランド舗装」の開発、普及を推進する東濃建設業協同組合（前田重宏理事長）は、マレーシア工科大学（UTM）と技術提携（9月12日に調印）を結び、11月からマレーシアで同舗装の施工、実証実験を行うことになった。（藤田聡）

同組合では、名古屋工場3区画の「クールアイランド舗装」を施工する。その後、UTMが、効果測定などの実証実験を行う。今月11日に同組合の前田理事長やUTMの岩尾憲三さんが、UTMの客員教授になったのがきっかけで、今回の技術提携が実現した。

11月3日から同7日まで、同組合の作業スタッフ4人が現地で駐在する。同組合は「熱帯に住む国民にとって

車場3区画の「クールアイランド舗装」を施工する。これは素晴らしい技術。この良い関係が長く続くことを願っている」と述べた。

クールアイランド舗装とは、地表面にタイ下と地中の蓄熱を抑制する。

11月3日から同7日まで、同組合の作業スタッフ4人が現地で駐在する。同組合は「熱帯に住む国民にとって